

5月28日(日)

14:00~17:00

講師

昭和大学歯学部高齢者歯科学講座教授

佐藤 裕二先生

会 場 兵庫県保険医協会会議室

- ・神戸フコク生命海岸通ビル5階
- ・JR・阪神「元町」駅東口から南へ徒歩7分

⇒新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員を**80**人とします ので事前申込をお願いします。会場に手指消毒液をご用意し、会 場換気を致します。マスクはご持参ください。

【Zoomによる視聴希望の方】

メールの件名を「**5/28**歯科定例研**Zoom**視聴希望」とし、本文に① 医療機関名②参加者名③職種…を記載の上、**ysng**@**doc-net.or.jp** (事務局・吉永宛)へ送信ください。招待メールを返信します。

※お問い合わせは078-393-1809まで

高齢者の義歯治療においては、必ずしも教科書的な治療原則が正解とは限りません。100点の診療を目指すのではなく、半分の時間で90点を目指すことも必要です。残存歯数は確かに増えていますが、寿命の延長に伴い、義歯患者(特にパーシャルデンチャー)は減ってはおらず、逆に難症例は増えています。このような状況で、義歯治療も新製ではなく、適切な調整・修理・リラインが重要となってきます。

本講演では、義歯治療を効率的に行うための「教科書に書いてないコツ」をお話します。「簡単で効率的な適合・咬合の検査・調整」「装着・撤去がしやすい義歯」「パーシャルデンチャーの維持力の的確な調整」などを、システマチックに効率的に行うコツをお話します。

また、義歯が良くなったことを患者さんに理解してもらうためには、口腔機能低下症の検査が重要です。しかし、指導・管理を上手に行うことは難しいのが現状です。そこで、当講座で開発した「口腔機能低下症の検査結果から口腔機能年齢(お口年齢)を算出する手法」を紹介し、患者さんにわかりやすく説明するコツをお話しします。(佐藤記)

⇒協会未入会の先生はこの機会にご入会の上ご参加ください(入会金なし/月会費:歯科開業医5,000円、同勤務医3,000円)

5月28日歯科定例研究会 来場参加申込書(返信FAX:078-393-1802)

地区〔	市区町〕医	療機関名〔	
tel (fax [
氏名〔		職種〔	